慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	C3 View : DTMを用いた音楽制作において制作者と指示者の間のコミュニケーションを補助する仕組みのデザイン要件
Sub Title	C3 View : Design requirements of interface allowing to smoothen communication between creators and producers
Author	中里, 秀幸(Nakazato, Hideyuki) 奥出, 直人(Okude, Naohito)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	本論文は、C3 Viewをデザインしていくにあたってのデザイン要件の策定を行ったものである。C3 Viewとは、DTMを用いた音楽制作において、音楽クリエイターと楽曲制作の監督を行うプロデューサー間のコミュニケーションを円滑にする、コンピュータ上の仕組みとして構想されているものである。この仕組みをデザインするために、筆者は実際の音楽制作で交わされたクリエイターとプロデューサーのやり取りを調査し、様々な角度から分析した。この調査の結果から、筆者は5つのデザイン要件を導き出した。また、導きだしたデザイン要件を元にC3 Viewのコンセプトデザインを提示し、シナリオ法を用いてC3 Viewを用いた音楽制作の流れを説明した。
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第183号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0183

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011 年度　　修士論文

C3 View:
DTM を用いた音楽制作において制作者と指示者の間のコミュニケーションを補助する仕組みのデザイン要件

中里　秀幸

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

中里　秀幸

指導教員：

奥出　直人 教授　（主指導教員）

南澤　孝太 助教　（副指導教員）

審査委員：

奥出　直人 教授　（主査）

南沢　孝太 助教　（副査）

石倉　洋子 教授　（副査）

C3 View:
DTMを用いた音楽制作において制作者と指示者の間のコミュニケーションを補助する仕組みのデザイン要件

内容梗概

本論文は、C3 View をデザインしていくにあたってのデザイン要件の策定を行ったものである。C3 View とは、DTM を用いた音楽制作において、音楽クリエイターと楽曲制作の監督を行うプロデューサー間のコミュニケーションを円滑にする、コンピュータ上の仕組みとして構想されているものである。この仕組みをデザインするために、筆者は実際の音楽制作で交わされたクリエイターとプロデューサーのやり取りを調査し、様々な角度から分析した。この調査の結果から、筆者は 5 つのデザイン要件を導き出した。また、導きだしたデザイン要件を元に C3 View のコンセプトデザインを提示し、シナリオ法を用いて C3 View を用いた音楽制作の流れを説明した。

キーワード

音楽制作, DTM, 共同創作, インターフェース, コミュニケーション

慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科

中里　秀幸

C3 View:
Design Requirements of Interface Allowing to Smoothen Communication between Creators and Producers

Abstract

This paper discusses the design requirements for designing C3 view, a system aiming to smoothen the communication between music creators and producers managing the music when creating music using DTM. Various research was conducted focusing on the practice of music creation between creators and producers for designing C3 View. Through this research, the five requirements that have been brought up were utilized to propose the C3 View concept design. A scenario draws the flow of music creation using C3 view.

Keywords:

Music Creation, DTM, Group Work, Interface, Communication

Graduate School of Media Design, Keio University

Hideyuki Nakazato